

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 中央化学株式会社

コード番号 7895 URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 水野 和也

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画担当 経営企画 (氏名) 中野 保則

TEL 048-540-2805

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	26,666	△5.7	△1,649	—	△1,227	—	△1,214	—
24年12月期第2四半期	28,275	△2.2	452	△45.7	230	△66.8	184	8.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △979百万円 (—%) 24年12月期第2四半期 197百万円 (23.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△60.26	—
24年12月期第2四半期	9.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	46,060	13,585	29.5
24年12月期	48,067	14,565	30.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 13,585百万円 24年12月期 14,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当期は決算期の変更(12月31日を3月31日)に伴い、平成25年1月1日から平成26年3月31日までの15ヶ月の変則事業年度となります。通期連結業績予想は、最近の原材料価格高騰を受け製商品販売価格改定を実施しておりますが、その効果を現時点で合理的に予測することは極めて困難な状況にあるため、売上高を除き、未定(—)としております。通期連結業績予想については、詳細が判明次第、速やかにお知らせ致します。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	21,040,000 株	24年12月期	21,040,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	890,986 株	24年12月期	890,950 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	20,149,019 株	24年12月期2Q	20,149,077 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安・株高の影響や新政権の経済政策への期待などから穏やかに回復しており、消費者マインドも全体としては改善しつつあります。しかしながら、雇用者所得環境の改善にまでにはいたっていないことから、当食品包装容器業界に極めて関連性の深い食品・日用品などの一般消費財市場においては、消費者の節約志向はいまだ根強く、競争も激化したことから、当社製品の販売数量・販売価格もその影響を大きく受ける結果となりました。一方で、ナフサやベンゼンの海外市況は高止まりし、更には円安が継続したことからポリスチレン等の原材料価格の上昇が続きました。

このような状況のなか、当社グループの国内では、2月13日から2月15日にかけて当社の東京オフィスにて「Spring Fair 2013」を開催してSD-sty le(製品名)をはじめとした春夏の新製品紹介とそれらを活用した食品売場や食品盛付けの提案をおこない、多数のお客様の来場とともに好評を博しました。生産面では、当社が開発したポリプロピレンをベースとした多機能素材「SD」(耐熱性・耐油性・省資源という従来型の特性に加えて断熱性・超軽量・CO2排出量削減を付加した多機能な断熱積層発泡素材)の安定した生産体制が確立され、「SD」の商品ラインナップも拡大いたしました。一方で、当社が使用するプラスチック原材料の価格は、高止まりする原油価格や円安などから、大幅に高騰し、他にも電気料や運賃など各種料金の値上げが続き、収益を著しく圧迫しております。これら原材料価格・各種料金の値上げを企業努力のみで吸収することは困難な事から、5月下旬に製品価格改定を発表し、順次、得意先様との価格改定交渉を実施しております。

中国においては、第2四半期の実質GDP成長率は前年比7.5%となり、経済成長率はやや低下したものの、依然、堅調な経済成長は続いており、安全・安心な当社グループ製品に対する安定的な需要は継続いたしました。また、昨年設立した統括会社「環菱中央化学管理有限公司」の統括機能範囲を順次拡大し中国事業の効率化と強化を進めております。しかしながら、中国においても原材料価格は上昇し、原材料高によるコスト増加要因を売上増加や合理化等で吸収できず減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が26,666百万円(前年同期比5.7%減)、営業損失1,649百万円(前年同期は452百万円の利益)、経常損失1,227百万円(前年同期は230百万円の利益)、四半期純損失1,214百万円(前年同期は184百万円の利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、受取手形及び売掛金が2,137百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,006百万円減少し46,060百万円となりました。

(負債)

負債は、短期借入金が491百万円、長期借入金が269百万円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,027百万円減少し32,474百万円となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純損失1,214百万円等により、前連結会計年度末に比べ979百万円減少し13,585百万円となり、自己資本比率は29.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、4,836百万円となり前連結会計年度末に比べ316百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費1,177百万円、売上債権の減少2,331百万円があった一方、たな卸資産の増加797百万円等があり、1,403百万円(前年同期比81百万円の増)の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得799百万円等があり、758百万円(前年同期比238百万円の増)の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入500百万円があった一方、短期借入金の純減額500百万円や長期借入金の返済670百万円等があり、1,205百万円(前年同期比3,035百万円の減)の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成25年2月13日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成25年8月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,153	4,949
受取手形及び売掛金	11,655	9,517
商品及び製品	5,791	6,549
仕掛品	676	723
原材料及び貯蔵品	1,229	1,482
繰延税金資産	240	55
その他	2,792	1,883
貸倒引当金	△15	△17
流動資産合計	27,523	25,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,495	6,547
機械装置及び運搬具(純額)	3,111	3,093
土地	4,563	4,563
リース資産(純額)	3,749	3,923
建設仮勘定	155	258
その他(純額)	708	721
有形固定資産合計	18,784	19,108
無形固定資産		
リース資産	19	15
その他	383	423
無形固定資産合計	403	438
投資その他の資産		
投資有価証券	363	277
長期貸付金	125	136
破産更生債権等	183	127
繰延税金資産	803	931
その他	144	167
貸倒引当金	△265	△270
投資その他の資産合計	1,355	1,370
固定資産合計	20,543	20,917
資産合計	48,067	46,060

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,163	11,667
短期借入金	3,498	3,007
1年内返済予定の長期借入金	1,314	1,413
リース債務	1,001	1,101
未払金	2,183	2,105
未払法人税等	71	40
未払消費税等	41	47
賞与引当金	—	129
海外事業等再編引当金	32	32
資産除去債務	17	11
その他	1,742	770
流動負債合計	21,067	20,325
固定負債		
長期借入金	8,361	8,091
リース債務	3,000	3,085
退職給付引当金	777	686
役員退職慰労引当金	15	9
災害損失引当金	81	77
債務保証損失引当金	37	37
資産除去債務	7	7
その他	153	153
固定負債合計	12,434	12,149
負債合計	33,502	32,474
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,212	6,212
資本剰余金	5,787	5,787
利益剰余金	3,353	2,139
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	14,183	12,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	8
繰延ヘッジ損益	0	16
為替換算調整勘定	378	591
その他の包括利益累計額合計	381	616
純資産合計	14,565	13,585
負債純資産合計	48,067	46,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	28,275	26,666
売上原価	22,180	22,376
売上総利益	6,095	4,289
販売費及び一般管理費	5,643	5,939
営業利益又は営業損失(△)	452	△1,649
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	5	3
為替差益	22	462
その他	104	138
営業外収益合計	135	606
営業外費用		
支払利息	142	114
手形売却損	13	12
売上割引	42	41
支払手数料	120	—
その他	39	15
営業外費用合計	357	185
経常利益又は経常損失(△)	230	△1,227
特別利益		
受取補償金	—	195
受取和解金	136	—
その他	—	0
特別利益合計	136	196
特別損失		
固定資産除売却損	41	6
災害損失	71	45
その他	0	—
特別損失合計	114	51
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	252	△1,082
法人税、住民税及び事業税	26	77
法人税等調整額	42	53
法人税等合計	68	131
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	184	△1,214
四半期純利益又は四半期純損失(△)	184	△1,214

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	184	△1,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	5
繰延ヘッジ損益	△0	16
為替換算調整勘定	6	213
その他の包括利益合計	12	234
四半期包括利益	197	△979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197	△979

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	252	△1,082
減価償却費	1,075	1,177
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14	5
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△9	△4
退職給付引当金の増減額(△は減少)	57	△90
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△34	△6
受取補償金	—	△195
受取利息及び受取配当金	△8	△6
支払利息	142	114
為替差損益(△は益)	1	△16
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	0	△0
有形固定資産除却損	41	6
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△0
役員退職慰労金	38	13
売上債権の増減額(△は増加)	2,355	2,331
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,350	△797
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,122	△43
未払消費税等の増減額(△は減少)	△29	△1
その他	110	18
小計	1,506	1,422
利息及び配当金の受取額	8	6
利息の支払額	△126	△113
補償金の受取額	—	195
役員退職慰労金の支払額	△38	△13
法人税等の支払額	△28	△93
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,322	1,403
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△546	△799
固定資産の売却による収入	—	3
定期預金の預入による支出	—	△112
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	4	100
貸付金の回収による収入	18	7
破産更生債権等の回収による収入	—	46
その他	10	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△519	△758
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△13,089	△500
長期借入れによる収入	10,000	500
長期借入金の返済による支出	△786	△670
リース債務の返済による支出	△364	△535
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,240	△1,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	242
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,426	△316
現金及び現金同等物の期首残高	7,902	5,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,476	4,836

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,959	2,316	28,275	—	28,275
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	569	587	△587	—
計	25,976	2,886	28,863	△587	28,275
セグメント利益	591	116	708	△255	452

(注) 1. セグメント利益の調整額△255百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,942	2,723	26,666	—	26,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28	953	981	△981	—
計	23,971	3,676	27,648	△981	26,666
セグメント利益又は損失(△)	△1,340	9	△1,330	△318	△1,649

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△318百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。